

友和

NO. 569

発行日 令和6年9月1日

発行 社会福祉法人 友和の里
〒738-0203

広島県廿日市市友田 218-38

TEL0829-74-2157 FAX0829-74-2154

HP : <http://yuuwanosato.com/>

発行者 常務理事 下川真稔



8/13 に入所部ステップ班が愛情をたっぷり込めて育てたスイカを収穫して、スイカのフルーツポンチを作って食べました。収穫したスイカは手のひらサイズのスイカから顔のサイズまで沢山収穫できました。スイカのフルーツポンチを作っていた間は、縁日気分を味わうという事で、お菓子すくいをしました。今回はチケットを渡してからのチャレンジ!!その後はどの道具を使ってすくうかが大きなポイント!!色々駆使しながら、時には手を使いながら、目指すは最高の4袋をゲットする事です。参加したみなさんととても上手にゲットされていました。その後は戦利品のお菓子を食べました。午後からは今回の一番のメインのスイカのフルーツポンチ。栄養士さんの素敵な計らいでスイカの器に入ったフルーツポンチを頂きました。味はととてもみずみずしく、美味しかったです。(主任 甲斐 真由美) ※ 次ページに写真掲載しています。

栄養士さんにききました!



フルーツポンチ

8/13のフルーツポンチはどのように作られたのですか?
 →「その日の朝、みんなが畑で収穫したスイカを使いました。小玉サイズだったのでまず半分に切って、中身をくりぬいた後包丁でギザギザを作りました。そのまま捨てずにフルーツポンチの器にしたらいよねとなって、12個くらいできました。器の中にフルーツポンチを入れてそのまま食べてもらえた人もいました。ポンチの中身には手作りシロップにスイカと黄桃が入れてあります。固形物が食べられない人用にはスイカゼリーも作りました。(きれいな色のゼリーでした)」



レクリエーション

スイカ割り大会 (7/17)

かねてより育てていたスイカでしたが、今食べるにはまだ早い大きさでしたので今回はこちらで用意したスイカを使用して、レクリエーションとしてスイカ割り大会を行いました。午前中に各グループで1つのスイカを皆で叩き、代表者1名に豪快に割って頂きました。午後よりこちらで用意していたアイスと午前割ったスイカを皆で食べました。あまりの猛暑日のため室内でのスイカ割り大会になりましたが、季節を感じる時間を共有することが出来ました。今回育ちきらなかったスイカは後日またの機会にみんなで楽しもうと考えています。
 (主任生活支援員 池田 識彰)



8月も暑い日が続きましたが、9月に入っても厳しい残暑になりそうです。入所部では朝、遊歩道を利用してウォーキングに取り組んでいますが、熱中症対策のため外でのウォーキングから室内ウォーキングに切り替えています。運動不足解消でしっかりと歩いて体力作りに頑張っています。また、余暇の時間は段差を利用した踏み台昇降などで機能低下を防ぐよう努めています。
 (生活支援員 木村 信広)

ゆめ森はな森ぬく森 News



惣道さんと遊歩道をウォーキング中地域の方が小さな犬を散歩していました。惣道さんは最初『こわい、こわい』と話されていましたが次第に慣れたのか一緒に歩かれ楽しそうにされていました。もう一枚は森見さんです。緑とピンク色の景色のなか満足そうに歩かれていました。

(生活支援員 高橋 正雄)

これまで別紙でお届けしていた「ゆめ森・はな森・ぬく森 News」を今月より本誌内に掲載させていただき、遊歩道の四季や活用、整備の様子をお伝えしていきたいと思います。

開所日ワクワク通信

7月開所日には、クリアカップを使って風鈴づくりを行いました。カップに絵を描いたり、ひもにビーズを通して飾りつけをしました。また、短冊に願い事を書き、それぞれ思いのこもった風鈴が完成しました。

(生活支援員 朝川泰貴)



ちりんちりん。
作った風鈴はホールに
しばらく飾って
たのしみました。



あんなこと
こんなこと



～7月20日(土)のできごと～

グループホームゆうわ(GH)の玄関に風鈴が飾ってありました。いきさつをしらないところに北村さんが「ぼくが作った」とほこらしげに伝えてくれました。するとすぐさま峠本さんも「見て見て」と自分も作ったんだというジェスチャーを。

よく聞いたところ、通所部で自分たちが作ってきたのだと。夏の風物詩である風鈴のやさしい音色と二人の利用者の嬉しそうな表情が今もステキな余韻として残っているのです。

(GH・FH 管理者 乙原 亮)

貝通し班

今月は作業風景を載せてみます。みんな集中して採苗器を作っています。休憩中は楽しく遊んだり、話しをしたりしていますが、軍手をしてエプロンをしたらお仕事モードになるのか、集中して作業をします。今年度の契約も済んだので、仕事がなくなる事はなく、安心して作業できます。今回は、^{たがわ なおき}田川 直樹さんを紹介します。休憩中は椅子やソファに座ってくつろいでいる事が多いです。本が好きで本を見ている事もあります。作業終わりの友和から帰る時は、ペコリとおじぎをしてくれます。（生活支援員 三宅 将）



療育班

とても暑い日が続いていますが、療育班では季節を先取りして、栗や落ち葉など、“秋”をイメージするものを貼り絵にして描いています。これは 11 月に開催予定の友和の里まつりで展示するものとして制作しています。これからどんな貼り絵が完成するか楽しみです。（生活支援員 濱田 吉弘）



陶芸班

引き続き型流しを頑張って取り組んでいます。千支の巳の釉薬での色付けも始まり、千支のカタログも作成中です。

（生活支援員 堂面 なみ）



創作班

今回は創作班の新しい仲間（^{しん}申ノアさん）を紹介します。作業環境の変更で先月途中に貝通し班から来られました。今はウエスの畳み作業をしています。今のところ穏やかにマイペースでされています。本人の特性に合った作業ややり方を見つけて、提供していきたいです。（生活支援員 寄尾 博孝）



がいしゅっしん



ウッドワン美術館と空ロママのミルク工房へ行ってきました。普段とは違った皆さんの様子や、美味しそうにアイスクリームを食べられている姿を見て職員も一緒に楽しむ事ができました。（生活支援員 堂面 なみ）

今月のグループホームゆうわ(GH)の夕食会は、皆さんでスーパーに行き夕食の買物をしました。真剣に食品を吟味し、買物を楽しまれていました。GHに戻られ好物を沢山食べられ、今年も元気に猛暑を乗り越えられそうです。

(生活支援員 山田 憲志)



一人ずつ買い物かごをもって、好きなものを選んでもらいます。夕食一食分なのですが、スイーツもたくさん購入されていました。みなさん、買つ気満々!



ヨシズで囲われた中庭に、ミニトマトは植えてあります。植えられたミニトマトは4本!今年の夏は暑すぎました。



フレンドホームゆうわ(FH)では毎年、中庭にてミニトマトの栽培を行なっております。今年も真っ赤に色付いたミニトマトを皆さんで収穫して頂き、食事の際に提供させて頂いております。ご自分で収穫されたミニトマトの味は一段と美味しいと好評であります。

(生活支援員 永中 崇裕)



ちょこっと紹介:下崎秀夫さんが描かれた作品です。いろんな色に浮気せず、黒一色で丁寧に細筆を動かして出来上がりました。



広原山だより その8



この夏の広原山周辺では、ところどころ赤茶けた樹々が目につきました。害虫によるものか、水不足によるものかは分かりませんが、心配です。その一方、田圃の稲穂は黄金色を見せ始め、実りの秋の到来を知らせてくれています。

今月は、別欄でも取り上げている施設内虐待防止研修について少し触れたいと思います。この研修は、本年度の「事業計画」の重点的取組として位置付けているものです。講師には、前回、前々回に引き続いてコンサルテーション森の入口の金丸博一さんをお招きしました。

研修の内容は、利用者に寄り添うため、さまざまな障がい、とりわけ自閉症の特性を持つ事例を通してその理解に向けた多くのヒントを投げかけていただくというもの。経験が豊富で専門性の高い講師のお話を理解することは容易なことではありません。しかしながら、日々、利用者と付き合い、その利用者の落ち着いた時間や笑顔をいかに増やすかは、施設側の提供すべき役割の一つでありますから、参加した職員は真剣そのもの。二度にわたるグループワークでは活発な意見が出されていました。

数回の研修で、すぐに虐待防止や支援の質の向上につながる成果がもたらされるとは思いません。しかし、率直な思いや気づきを言葉にし、グループでその思いや気づきを確認め合うことによって着実に利用者の気持ちに近寄ろう、分かろうとする姿勢が出てきていると感じた研修日でした。（常務理事 下川真稔）



職員研修報告

令和6年度第1回虐待防止研修
8月6日に、『コンサルテーションサポート森の入り口』の金丸博一氏を講師にお迎えし虐待防止研修を行いました。支援員・事務・相談支援・厨房、それぞれの視点からの意見交換ができ、チーム支援の大切さを実感しました。
（主任 川久保 貴子）



今月は廿日市市友田岩組地区にあるコミュニティ活動を牽引されている会
わかものかい たむらえいたろう
 若者会の会長田村栄太郎さんにお話をききました。

Q.若者会について一岩組地区（約 250 世帯）に住
 所があるメンバーで構成された会です。50 歳まで
 の成人男性 20 人が所属しています。一番若いメン
 バーは 20 代。随時メンバーを募集しています。

Q.活動内容ーイベント中心に活動があり、正月元
 旦の獅子舞から 6 月の環境整備作業、8 月の岩組
 夏まつり、10 月秋祭りを、計画して実施していま
 す。堅苦しくかんがえずに、集まって話をしながら
 やっており、実際楽しんでます。仲がいい。地域
 がら友田は廿日市市の山間部にあるので、通勤や
 通学でつかう道路情報はよく話題になります。グ
 ループラインで県道の事故情報などが一早くあが
 ってきたり、情報共有ができるメリットがある。



2024.8.24 の写真、真ん中黒いベストが田村さ
 さん、岩組夏まつりの準備作業をしている若者会
 のみなさんと！イベントの設営からステージ
 司会やその運営まで機動力のあるメンバーで
 実施。行列のできる夜店では焼き物やかき氷、
 ゲームコーナーと分担し全員参加でもりあげ
 られる。

岩組地区にある友和の里の事業所は共同生活援助事業所の GH と FH です。こちらでは毎年
 来てくれる獅子舞やお神輿の訪問を利用者が楽しみにしており、若者会のみなさんと一緒に写真
 を撮ったりなど交流が続いています。毎年出店などが出来る夏まつりには直接集会所のある会場へ出
 向いて参加させてもらっています。



■わたしは花展のご案内

主催 広島県知的障害者福祉協会 事業部会 文化・芸術の部
 会期 令和6(2024)年8月29日(木)~9月27日(金)
 会場 ハナサクモリ大町 (広島市安佐南区大町東一丁目 12-10)
 広島市安佐南区障害者基幹相談支援センター1階

会期中にイベント「わたしは花」が開催されます！

日時 2024.9.8(日)PM13:00~15:00

会場 ハナサクモリ大町

内容 出品者によるトーク、作品展の趣旨に賛同するアーティスト
 と一緒に公開制作 ※どなたでも参加できます。

友和の里からも作品 10 点を展示しています！

(入所部通所部フレンドホームの利用者作品 10 点)

ぎょうじよてい
9月の行事予定

9/2(月) 管理者会議

9/6(金) 入所部アート活動

9/10(火) GH/FH 消防訓練(夜間想定)

9/14(土) 通所振替開所日(8/30の振替)

9/16(月) 敬老の日

9/17(火) 理事会

9/20(火) 入所部アート活動

9/21(土) 通所開所日

9/23(月) 秋分の日

9/25(水) 入所部レクリエーション(保護者参加)、評議員会

9/27(金) 通所部日帰り旅行

information



作画:和泉ひろし

令和6年度友和の里まつりのお知らせ

テーマ 「笑顔広がる 友和の里まつり」

開催日 11月10日(日) 10:00~14:30

場所 友和の里(廿日市市友田広原218-38)



作画:すみよしじゅんこ

法人一同、笑顔で皆さまのご参加をお待ちしております。

尚、当日通所部は生活介護の日になりますので、普段通り送迎バスは運行致します。

翌日11/11(月)は通常通りの開所となります。

(友和の里まつり実行委員長 川久保 貴子)